

コベルコ建機

適用範囲		モデル名		SK40SR- 5	
		仕様		後方小旋回	
		適用号機		PH07-06001~	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		2550±50	
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	1150±50	
		ローアイドルリング （冷却水温） （作動油温）	min ⁻¹ (°C) (°C)	(60~90) (50~60)	
		弁すき間		0.15~0.25	
		吸気弁 隙間	mm	0.15~0.25	
		排気弁 隙間 （測定条件）	mm (°C)	(冷態時)	
		圧縮圧力又は気筒 間圧縮圧力差	MPa	3.33~3.53	
		（冷却水温）	kgf/cm2 (°C)	34~36 (—)	
		（回転速度）	(rpm)	(250)	
燃料装置		噴射ノズルの燃料噴射 開始圧力	MPa	19.6	
			kgf/cm2	200	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] （中間を指で押す力） kgとNの両方で表記	mm	7~10	
			N・m	ウオータポンプ～オルタネータブリ間	
			kgf	〔 98 10 〕	
走行装置	走行性能	最高速度	ゴム	秒	
			鉄	秒	
	(クローラベルト)	履帯		[測定方法・条件]	
		ゴムベルト	張り (たわみ量) [測定方法・条件 (図面番号表示)]	mm	85~95 [図-02]
		鉄シュー	張り (たわみ量) [測定方法・条件 (図面番号表示)]	mm	130~150 [図-02]
		リンクピッチの伸び	[測定方法・条件]	mm	135.0 〔1リンクピン間距離〕
		履板取付けボルト 締付けトルク	N・m kg・m	216.0 22 〔トルクレンチ〕	
		[測定方法・条件]			

コベルコ建機

適用範囲		モデル名		SK40SR- 5	
		仕様		後方小旋回	
		適用号機		PH07-06001～	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値	
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置 (測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm	150	
			(分)	(10)	
	(℃)	(50～60)			
			[図-03]		
	シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示) アームシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示) ブレードシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示) (測定時間) (作動油温)	mm	12	
				[図-03] 6	
			mm	[図-03] —	
			mm	[図-03] 6	
			(分) (℃)	[図-03] (50～60)	
	作業機速度	ブーム上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示) アームシリンダ伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダ伸ばし 縮め 作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	sec	2.3±0.4	
			[図-04] 2.8±0.4		
sec			2.1±0.4		
			[図-05] 2.8±0.4		
sec			1.8±0.4		
			[図-06]		
			〔 無負荷 〕		
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	23.0	
		性能測定条件 (設定モード等)	kgf/cm2	235 〔 エンジン：ハイアイドル 作動油温：50℃ 〕	
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウトレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	—	
		インナレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	181.0 18.4	
	旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	216.6 22.1	
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	—	
	備考				

★印：新車基準値を表す。

コベルコ建機

適用範囲		モデル名	SK40SR- 5	
		仕様	後方小旋回	
		適用号機	PH07-06001~	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	sec	13.2~14.6 [図-07]

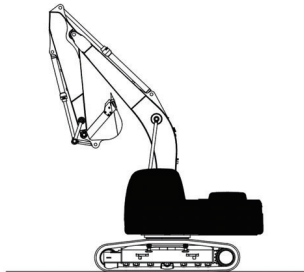
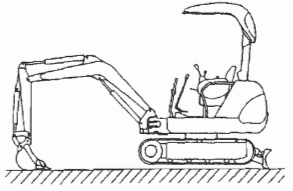
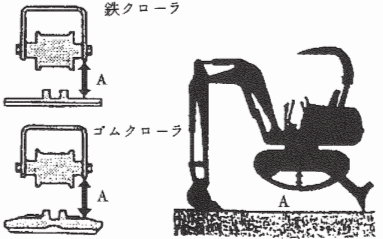
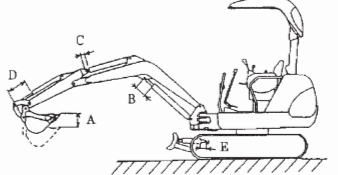
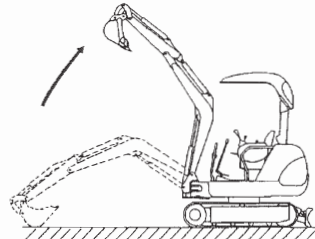
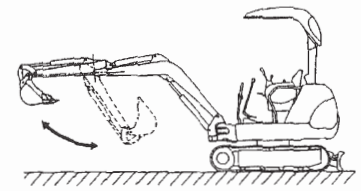
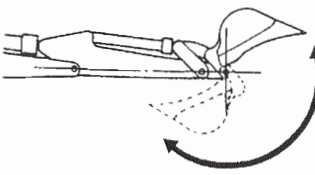
項目	測定方法
旋回速度	・エンジン：ハイアイドル ・作動油温：50℃±5℃ ・作業モード；S又はMモード ・クッションストロークを除く作動時間 ・バケット空荷で平坦地 ・ブームシリンダ/アームシリンダ/バケットシリンダ最伸 方 法 旋回レバーをフルストロークを操作し旋回する。 一回転助走後の二回転に要する時間を測定し、 一回転当りの所要時間を算出する。 

図-07

走行速度 (5 回転) ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 ・クローラシュを回転させ、2 回転目より数え、5 回転するまでに要する時間を測定する。(等速回転後の測定)	 図-01
クローラの張り ・ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 クローラフレーム中央部におけるフレーム下面とクローラシュ上面とのすきまを測定する。 注) ゴムクローラの場合は、“M” マークの印された継目部を上部中央にして測定すること。	 図-02
シリンダ自然降下量 ブーム、アーム、バケット、ドーザ、バスケット先端 ・エンジン 停止 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 ドーザ、アームシリンダは最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、ブームフットピンとバケットピンの高さを同一にする。 ・測定姿勢を 10 分間保ち、その間に变化したロッドの長さ、及びバケット先端での変化量を測定する。	 図-03

ブームシリンダ速度 ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とする。ドーザを設地させる。 ・バケットの設置位置 (最高上げ位置) から、最高上げ位置 (地上設置位置) までの所要時間を測定する。(クッション作動時間は含まない)	 図-04
アームシリンダ速度 ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、アームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・アームシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。	 図-05
バケットシリンダ速度 ・エンジン 定格運転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小にしてアームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・バケットシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。	 図-06